

第14回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月30日（水）
9時00分から9時15分まで
場所 県庁3F 第一応接室
災害対策本部総務班

9時00分開会

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。
(資料を基に説明)

【盛岡地方気象台】

- 今後の天候について

本日30日は寒冷前線の通過により初めのうち曇っているが次第に高気圧に覆われて晴れてくる見込みである。その後11月5日までは大きな崩れはない予想。

詳しい週間予報等については9ページに資料を掲載しているのでそちらを参考としてほしい。

【各本部員等】

- 各部署及び関係機関の対応状況等について報告。

・政策地域部長

市町村の人的支援について、洋野町から10月28日に2名の要請があった。普代村については10月18日に3名の要請に対し盛岡市土木3名が盛岡市役所内で作業をしながら支援している。さらに10月28日に新規で土木1名の要請があった。田野畑村については要請5名のうち、軽米町と葛巻町からそれぞれ1名ずつ計2名確保できた。山田町については前回報告のとおりである。引き続き調整をしていく。

・環境生活部長

水道施設について断水は全て解消している。

災害廃棄物処理については、普代村の可燃ごみについて11月1日から二戸地区広域行政事務組合において処理開始予定である。

自然公園施設については前回報告から変更なし。

・保健福祉部長

すでに活動終了しているが、避難所で感染制御支援の活動をした。

・農林水産部長

被害額は、農林水産業全体で85億2千万円余となっている。

農業関係は、農地・農業用施設についてほぼ概要がかたまり、被害額は全体で16億1千万円余である。

林業関係は、現在鋭意調査を進めているが、未調査部分があり今後も調査を進めていく。

水産関係は、水産施設、水産関係施設の破損等について被害額が判明してきた。水産関係では11億4千万円余、水産全体としては25億2千万円余の被害である。

・商工労働観光部長

商工関係の企業等の被害状況について、釜石市で56件増えて90件となっている。被害額は調査中であつたものが240万円と算定されている。

激甚災害指定に伴い、被害を受けた中小企業者が資金を借り入れる際、災害関係保証枠が適用になる。通常8千万円の保証枠が2億4千万円まで無担保保証で受けられることとなる。

・県土整備部長

今朝の新聞に、岩泉町の県道の補修を国が行っているという記事があつたが、下閉伊生コンのプラントから三陸沿岸道路の工事現場までの生コン輸送ルートの県道であり、県又は国で早く出来る方が着手するという事で工事しているもの。明後日1日に通行可能となるよう作業を進めている。

・教育長

児童生徒の学用品の流出等があり、支援の必要な生徒が5名程度と把握している。

【総務部長】

○ 対応方針を報告。

(資料を基に説明)

【本部長（達増知事）】

本日の本部員会議に陸上自衛隊、盛岡地方気象台から御出席いただき、御礼申し上げます。

今後の対応方針について「県は、復旧・復興のフェーズにおいて、市町村と一体になって、被災者の生活再建を支援するとともに、被災地域の早期の復旧に向けて全力を尽くす。このため、国の支援制度を最大限活用するとともに、制度適用に向けた要望、働きかけを積極的に行っていく。併せて、県として人的支援を促進し、財政支援策を検討する。」としたところである。

各部局の所掌する分野において、被災者、自治体を支援する国の制度の活用、そして県としての支援策を検討すること。

引き続き、被災者、復旧業務従事者の安全と健康を守りながら、被災市町村等のニーズに沿って関係機関と連携を図り、復旧・復興に向けた取組を進めて参りましょう。

9時15分閉会

※ 第15回本部員会議は11/5（火）9時から開催予定
11/2（土）は13時現在の対応状況を書面報告する。